

事務事業名	真岡市教職員研修費補助金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				増補版施策名			
施策名	2	小・中学校の教育の充実				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和56年度～）			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	1教育総務費	2事務局費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	真岡市教職員の資質向上を図るため実施する。 真岡市小中学校の校内研修の開催補助金額75,000円								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 真岡市小中学校の校内研修支援のため、交付申請書（事業計画書）を提出させ、補助金を交付し、教員の現職教育による資質向上に寄与する。 2年度計画 昨年度と同様	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	補助金額	千円	87	87	87	75	75	
イ								
ウ								
エ								
オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市内全小・中学校の校内研修に参加した教諭	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	研修会に参加した人数	人	565	554	523	520	512	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 真岡市内全小・中学校に必要な校内研修等を実施する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	成果が得られた学校数	校	27	27	23	23	23	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 真岡市小中学校の教諭の資質の向上を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	事業を通して資質の向上が図られた学校の割合	%	100	100	100	100	100	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	87	87	87	87	87	
	事業費計(A)	千円	87	87	87	87	87	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	91	91	91	91	91	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	教職員としての資質の向上を図るため、真岡市内全小・中学校が校内研修を実施した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	